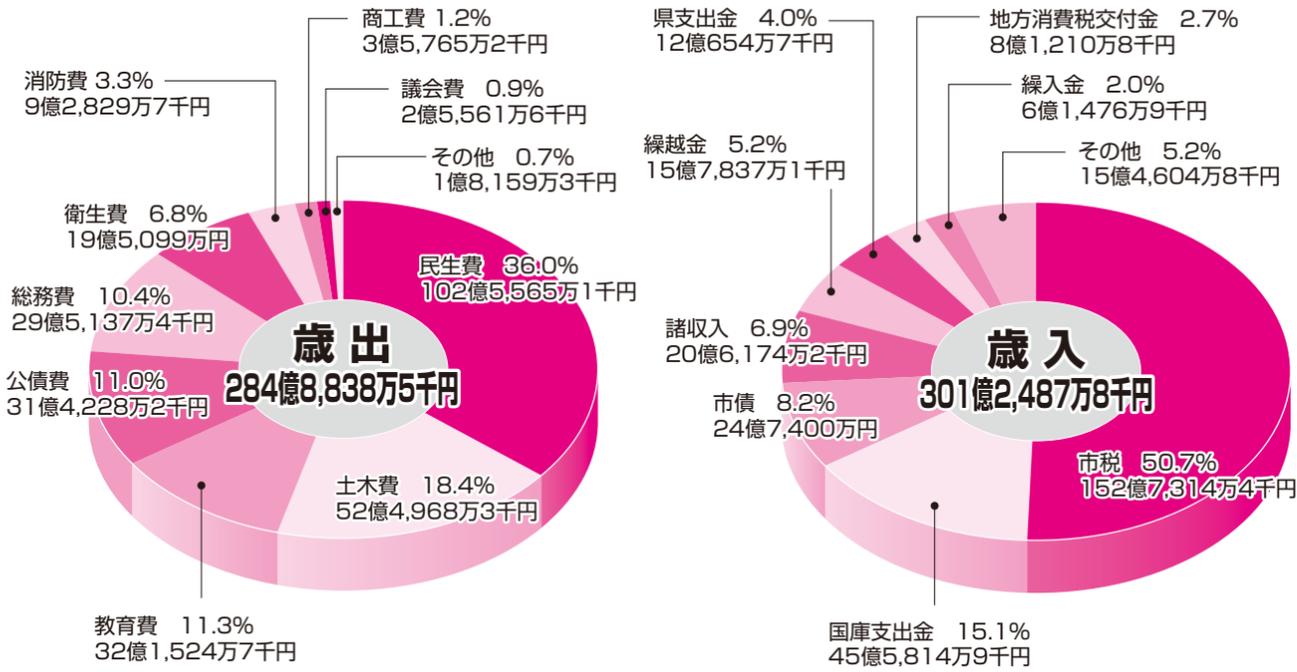


平成25年度八潮市一般会計歳入歳出決算の概要



平成25年度八潮市一般会計歳入歳出決算の歳入総額は、301億2487万8千円、歳出総額は284億8838万5千円で、歳入歳出差引額は、16億3649万3千円でした。また、歳入歳出差引額から、翌年度への繰越財源1億494万1千円を差引いた実質収支額は、15億3155万2千円で、単年度収支額は、5万2600円でした。なお、平成25年度八潮市一般会計歳入歳出決算の概要については次のとおりです。

討論

平成25年度八潮市一般会計歳入歳出決算について、討論の概要をお知らせいたします。

反対討論(日本共産党)

平成25年度決算は、アベノミクスなる経済対策の実行というもとの決算でした。円安・株高が進み、景気の回復傾向というとも言われました。

本市の25年度決算では、株式等譲渡交付金が当初予算比で1668・8パーセントと極端な数値で増加しています。こんなところに、そのこと自体は読み取れますが、円安による輸入品の高騰は、物価の引き上げとなり、賃金などの所得が増えなければ庶民の暮らしはますます苦しくなるばかりです。厚生労働省の「平成25年版労働経済の分析」は、現金給与総額の推移について「1997年の36万円をピークに減少が続き、2012年は31万4千円へと、12・8パーセント減少」と指摘しています。同じく、26年版では、「2013年の現金給与総額は、前年比でみると横ばいと持ち直しの動きを見せた」としていますが、総額そのものは減少しています。

賛成討論(自民クラブ)

平成25年度の経済情勢は、金融政策や財政政策などを一体的に推進したことにより、企業の業績は改善傾向に向かい、個人消費も増加するなど、景気の回復の兆しが見えてきたところであります。

さな法人では、赤字法人が多くを占めています。引き続き、市民生活応援の市政運営に腐心していただきたいと思えます。こういう中で職員の給与削減が実施されました。政府が、地方交付税を削減する形で押しつけてきたのですがデフレ脱却と称して財界には労働者の報酬引き上げを要請しながら、足下では人件費の削減を地方に強要する、矛盾の極みでありました。民生費では、在宅福祉といながら、障害者生活支援事業・高齢者福祉サービス事業、共に利用者の減少が見られます。利用しやすいサービスとするよう利用条件等の改善が求められます。

反対討論(市民クラブ)

平成23年度から3カ年度連続で市税全体の収納率が向上したことは、収納努力の結果であること高く評価するものであります。今後も自主納付の啓発や納付しやすい環境を整えるなど、自主財源の確保にさらに努めていただきますよう期待するものであります。

土木費では、街並み景観形成支援補助金が年度途中で減額補正されることもないまま未執行となりました。教育費では、教育相談所運営事業をより充実させることを求めたいと思えます。一人一人様々な問題を抱えている子どもたち・保護者に寄り添った相談業務をする上で、相談員が時間的にも余裕を持って業務に当たることができるようになるべきです。

賛成討論(市民クラブ)

平成25年度の主な事業をみますと、北部地区整備関連事業では、外環自動車道八潮パーキングの整備にあわせて、スマートインターチェンジの必要性や有効性を検討するための調査などが実施されるなど、今後のまちづくりを期待するものであります。

次に、歳出総額では、284億8838万4785円で、執行率は、88・5パーセントとなっております。歳出全体では、予算化された事業を効率よく執行され、経費の削減が図られたことにより、最少の経費で最大の効果が得られたものと考えております。